

# 令和4年度 地域活性化助成事業(第1部:前期)助成決定団体一覧表

No	団体名	推薦市町村	代表者	事業名	事業内容
1	琉球弧の無形民俗文化財を考える会	那覇市	高江洲 義寛	琉球弧の無形民俗文化財の危機を考える連続シンポジウム	存続の危機にさらされている、琉球弧に存在してきた無形民俗文化財の現状を、専門家、研究者の皆さんから報告いただき、今後の保存継承のあり方を、県民の皆さんとともに考えていくための連続シンポジウムを開催する。
2	八重山探検隊	石垣市	入嵩西 千鶴子	石垣島民話の里めぐり	石垣島に残る民話の里を子どもたちとめぐり、方言で語る民話や民謡に触れる機会をつくり、八重山の文化や歴史に興味、関心を持ってもらう。また、パンフレット作成のためのワークショップを行い、著作権をはじめとする情報管理の知識を身に付けさせることも支援する。
3	浅野浦自治会	浦添市	銘苅 秀盛	桜のまち浅野浦宣言と自治会活動	持続可能な自治会活動を目指し「桜のまち浅野浦」宣言を行い、まちづくりの目標とする。基調講演や記念植樹、ロゴ作成を行うが、桜を増やすことだけでなく、地域の人々の心の中で「春爛漫と咲き続ける」自治会活動を行うことを目的とする。
4	(公社)青年海外協力協会 沖縄事務所	浦添市	我如古 盛修	地域の魅力再発見☆目指せうらおそいマスター	浦添地域の若い世代を主なターゲットに、浦添の歴史・文化に触れながら、平和やSDGsについて楽しく学べる教育コンテンツを地域住民と一緒に作り、実際に体験してもらうことで、地元への誇りを高めると同時に、世代間交流を促すきっかけにしたい。
5	あかゆらぬ花会	南城市	比嘉 幸雄	自然環境観察会・地域づくり勉強会	地域の自然環境を観察し、生物の生態などをメモにして、人間生活に役立つ資料として整理する。専門家が現地で行う観察手法や姿勢、資料等の整理方法を学び、観察結果を小冊子にまとめあげ、地域づくりにも役立てていきたい。
6	大里グリーンタウン自治会	南城市	奥原 則和	作品展事業	コロナ禍で全ての行事が中止となり、会員の親睦・交流が閉ざされ、絆が分断されている。今回の作品展では、ふれあいサロンや、子どもたちの物づくり教室などを盛り込み、会員相互の文化交流の促進と、地域の文化活動の活性化を図ることで会員の絆を強めることを目的とする。
7	ユナムダクマ協議会	国頭村	大城 靖	持続的な与那区伝統行事実施体制強化事業	与那区には、女性だけで歌い踊る伝統行事がある。しかし、過疎化による女性の減少とコロナの影響もあり、行事継続が難しくなっている。そこで、元京都教育大学の先生を招聘し話を聞く機会を設け、歌の方言歌詞入りDVDを作成し配布することで、伝統行事を持続可能なものにした。
8	くがにまーる@くめじま	久米島町	與座 泉	みんな生き生き、笑顔いっぱい 未来につなぐ地域活性化事業	コロナ禍で孤立する親子の心配があり、大切にしてきた自然や文化についての継承も危機的状況となっている。そこで、子育て支援に関する4つの分野の活動を実施し、人と人を繋ぎ、学ぶ機会を設け取り組んでいく。心豊かに暮らしを楽しむことを目的とし、未来に向けた後継者の育成も行う。
9	新城自治会	八重瀬町	新里 聡	心と体の食作り	食育講師を招き、食育に関する講座を開くとともに、学校の長期連休期間に講師と保護者で子どもたちへ食事を提供する。学童待機児童等、地域の子どもを見守り、食への関心を高めていくことを目的とする。
10	波照間★ロボットクラブ	竹富町	仲里 研一郎	「Let'sプログラミングロボット製作♪」波照間プロジェクトⅡ	ロボット製作の機材を購入し、専門知識のある講師を招聘することでワークショップ等の体験活動を行う。今年度はロボットコンテスト全国大会出場を目指し、将来の波照間島を牽引する人材の育成を行うとともに、持続可能な活動を目指していく。

## 令和4年度 地域活性化助成事業(第1部:前期)助成決定団体一覧表

No	団体名	推薦市町村	代表者	事業名	事業内容
11	波照間島ムシャーマ西組	竹富町	上盛 均	波照間島ムシャーマ西組:獅子頭等修復事業	毎年、旧暦7月14日に行われる波照間島最大の伝統行事ムシャーマの際に使用される獅子頭等の修復作業を通して、修復技術の継承と獅子舞の意義・由来等の継承に資する。修復は、長老の指導・助言を受けながら行い、その様子を図録として作成し、配布する。
12	ベスマケーしゃはんプロジェクト	竹富町	寺尾 麻美	ベスマ ケーしゃはん スタディーズ ～未来につなげよう！私たちの海と島～	環境保全団体やSDGsゲームファシリテーターを招いて、講和やゲーム体験会を企画運営する。イベントを通して、海洋ゴミ回収の際に感じた諸問題についての解決策を楽しみながら見出すことを目的とする。また、今後の人材育成やさらなる活動へと発展させることも視野に入れている。